

# NPO法人 共に歩む市民の会 会報



2016年 9月1日 発行

共に歩む市民の会広報委員会

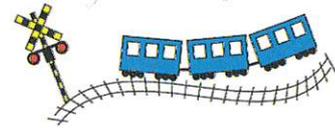
通巻 第47号

〒241-0022

横浜市旭区鶴ヶ峰 2-1-16

☎045-953-6727

「相鉄沿線の開発で変わる旭区のこれからについて」



共に歩む市民の会・会員 白石 大介

現在、川崎市川崎区在住の私は、旭区若葉台に住んでいた縁もあって、古巣の木楽舎時代から旭区のピア活動による仕事兼活動に約20年余り関わっていました。いい時期に有意義な関わりと充実した時期を過ごせた事を今では心から感謝しています。

木楽舎時代は私が30代頃に立ち上げの頃から関わり、「ほっとぽっと」も40代の頃に立ち上げから関わった事でいい思い出作りが出来てよかったと思っています。

私が今までの人生で2番目に長く住んだ旭区（在住期間⇒1984年～1997年）ではありますが、これからの旭区は区内を走る相鉄沿線の様々な開発によって、大きな変貌を遂げるでしょう。自宅で読んだ旭区役所のホームページで「広報よこはま・旭区版」の5月号の事ですが、今年度から旭区初の女性区長に就任された池戸淳子区長の挨拶の記事によりますと、「相鉄は2～3年後にJRと東急と相互乗り入れ運転を開始する」と記載されていました。自他共に認める鉄道ファンの私は、相鉄の乗り入れ運転の瞬間を自分自身の目に焼き付けたいと心から期待しております。相鉄もJRと東急の乗り入れ運転が本格化すれば、県央の海老名市から横浜市西部を通って、西谷・羽沢ルートを経由して首都圏屈指の都心への重要なアクセスとなるからです。

旭区の行政の中心地で、「ほっとぽっと」をはじめとする福祉機関が集中している鶴ヶ峰も隣接する二俣川と並ぶ横浜の副都心としての機能を果たす時代を迎える事となりますし、「ほっとぽっと」の利用者層も相鉄のJRと東急の乗り入れ運転の本格化で沿線の5区（旭区・瀬谷区・保土ヶ谷区・泉区・西区）のみならず、神奈川区、港北区などから来所される利用者も見込まれるでしょう。

これからの乗り入れ運転の本格化で活気付く相鉄沿線は通勤と通学のみならず、ショッピング、グルメ、レジャー、観光とバラエティに富んだ沿線の重要な足として、話題と魅力満載の路線になります。

未来ある相鉄沿線のように、「共に歩む市民の会」と「ほっとぽっと」も熱意かつ誠意の団体として存続される事を私も願っておりますので、皆様の日々の弛みない努力を応援していくと共に、相鉄沿線と共に躍進と発展も願っています。

私も川崎の地から「共に歩む市民の会」と皆様の事を見守っていきながら、10年余り関わった思い出深い「ほっとぽっと」のピア活動による仕事兼活動（担当⇒受付業務）のOBとして、皆様のご健康とご活躍、ならびに今後のご発展を心よりお祈り申し上げます。

最後に私からの締めくくりの一言を失礼します。旭区はいい場所だよ！！ 旭区は楽しいぞ！！

## 特定非営利活動法人共に歩む市民の会 第 12 回 通常総会報告

梅雨の晴れ間、紫陽花を愛でつつ、6月11日（土）ばれっと旭・多目的研修室に於いて、共に歩む市民の会第12回総会が行われました。正会員86名（団体会員含）うち出席者24名、委任状34名の提出により定数に達し総会は成立となりました。以下、新しい動きを中心にご報告いたします。



第1号議案(事業報告)では、当事者ニーズ調査アンケート実施での当事者の活躍、引きこもりへの訪問活動での家族や仲間の支援、10周年記念イベント企画と開催での多くのボランティアの関わりなど報告されました。会が、様々な方との繋がりの中で支えられ成り立っていることを再認識しました。一方、新たな動きとして、利用者の苦情相談への第三者委員の関わりがあり、ほっとぽっとのあり方を検討する研修委員会もスタートしました。

ほっとぽっと館内では、フリースペースで「お役に立ち隊」が立ち上がり、拠点内で多くの役割を担っています。相談支援では、相談チーム支援体制の定着からか訪問・同行件数が大幅に増えました。地域との連携として、地域ケア会議にも出席しました。

自立生活アシスタント事業は横浜市委託4年目となり、目的・内容は変わることなく支援を継続しています。アシスタント終了後も、個別相談・訪問チーム等と連携し地域生活を支援します。

第2号議案(決算報告)では、会の繰越金が減ってきていることに質問が及びました。

第3号議案(事業計画)では、会の「再生の年」にしたい。足元の地軸づくりを中心に、会の基盤・組織作りや財源確保について取り組みます。また、文化活動「ほっとたつはな亭」「文化班」は、ほっとぽっとから会へ事業移行します。

ほっとぽっと事業は、「相談支援・生活支援」「支えあい・共助」が二本柱です。今まで培ったものを活かしつつ、基本相談機能の更なる充実を図ります。職員会議を相談・拠点チームや自アシとの共有・ケースの検討に有効活用しつつ、また地域・区や連との連携も行います。拠点の活動充実のため、ピア、ボランティアが活躍できる場づくりをします。また、以上の事業や活動・支援をスムーズに行う為、館内環境整備として事務所の改造・改善を行います。

第4号議案(予算計画)では、事務所を一箇所にする改修費と、あり方検討委員会の研修会費が説明されました。予備費が大幅に減るけれど、今後を見通した上での選択です。

質疑応答は4件。質問者は担当者の回答により了解されました。質疑により、活動の具体的な内容を知る機会となったり、不安も交えた地域支援に関する現在形の意見が聞けたりと、旭区の現状を真摯に受け止める機会となりました。また、最後に出席した理事と職員の紹介を行いました。

1号から4号議案まで全て理事会案が可決・承認され、無事総会は終了しました。



宮地 博美

(末筆) 私的ですがすみません。6月末でほっとぽっとを退職しました。皆様大変お世話になりました。

今後は一会員として繋がっていようと思います。ありがとうございました。

## 総会第Ⅱ部発表報告

Ⅱ部担当 深井 浩治（理事長）

生活支援センターに求めるものXアンケート実施場所

	デイケア	作業所	市民の会 +旭会	外来	病棟	Total
1 生活・病気のことなどを相談するところ	32 47.8%	27 48.2%	47 65.3%	4 22.2%	26 48.1%	48%
2 ゆっくり過ごすところ(居場所)	24 35.8%	25 44.6%	27 37.5%	1 5.6%	19 35.2%	34%
3 友達や仲間と会えるところ	17 25.4%	22 39.3%	33 45.8%	4 22.2%	16 29.6%	33%
4 つながりや安心を感じるところ	19 28.4%	17 30.4%	18 25.0%	2 11.1%	11 20.4%	24%
5 情報を得られるところ	11 16.4%	7 12.5%	23 31.9%	1 5.6%	10 18.5%	18%
6 自分も様々な活動をするところ	8 11.9%	15 26.8%	17 23.6%	2 11.1%	6 11.1%	17%
7 訪問して支援をしてくれるところ	10 14.9%	5 8.9%	14 19.4%	1 5.6%	16 29.6%	16%
8 プログラムや余暇活動・イベントに参加するところ	12 17.9%	9 16.1%	10 13.9%	2 11.1%	12 22.2%	16%
9 食事や入浴などをすると	9 13.4%	5 8.9%	7 9.7%	2 11.1%	13 24.1%	13%
10 特に必要としない	0 0.0%	4 7.1%	3 4.2%	6 33.3%	6 11.1%	7%
11 活動や運営に意見が言える・参加するところ	4 6.0%	1 1.8%	3 4.2%	1 5.6%	3 5.6%	4%
12 その他	1 1.5%	2 3.6%	4 5.6%	1 5.6%	3 5.6%	4%

アンケートを取った場所が旭区の施設で取った事もあって、作業所・デイケアが多く年齢的にも40代、50代の回答者がもっとも多くなっています。住まいも自宅から通い、入院回数も1～3回位と少ないですが、中には10回以上という人もいます。

さて、今回はアンケート結果の一部ですが生活支援センターについて抜粋してみました。上の表から生活支援センターに求めるものは、やっぱり相談するところですね。市民の会(ほっとぽっと)を利用している人は支援センターの使い方を解っているようで、各パーセントテージが多いですが、病院の外来の人は“特に必要ない”居場所としていないという結果がでました。また、入院中の人は“訪問して支援をしてほしい”という要望が高いです。このように当事者は生活に不安をもっている事、そしてその不安を解決してくれる所を探しています。

### 第12回 総会に参加して

一般社団法人てとて 相談支援事業所わおん リンクよこはま訪問看護ステーション  
小久保 良子

旭区の高校を卒業して30年が過ぎました。その後いろんな回り道をしながら旭区の病院で働くことになりました。それから一旦離れ、今、旭区民で保土ヶ谷区で働いています。「共に歩む市民の会」にはご縁があるように思います。白根にあった たまり場 にも顔をささせて頂いていたと記憶しています。間が空いてもどなたかにお会いすると「あら小久保さんお久しぶり」と、いつも暖かさを感じていました。なんとも言えない心地良さに賛助会員となり、今年は総会のご案内が届きました。初めての総会でした。

私たちが昨年仲間てとてを立ち上げ事業を始めたので総会の資料なども作成していた時期でしたし、自分たちの参考にしたいと他の総会へも参加させて頂いていました。総会ってこんな感じなのだと思っていた後の「共に歩む市民の会」の総会。賑やかで、楽しい雰囲気、意見や質問も活発で自由でした。時間も押しているようでしたが、それでも話す方や、あと1つだけと手を上げられる方、など。そしてそれらを受け入れられる豊かな土壌がそこにはありました。それがどこから来ていて、どうして出来ているのか今はわかりませんが、私も共に歩ませて頂いていけば、そのうちわかるのかななどと思いがら帰路につきました。

ほっとぼっとのフリースペースでは、様々な活動が展開されています。

ランチ支援は、参加されたメンバーさんとボランティアさんの協働で行われる活動です。

昼食をつくるぞ！という気負いもなく、なんとなしにはじまる何気ない会話から、嗜好や季節感などに話題が及び、少し現実的な予算の話もだしていきながらメニューを決めていきます。そんなランチにボランティアとして参加されている山本さんを紹介します。（スタッフ 郡山）

## ～ボランティアの声～

山本 力

### <ほっとぼっとで何をしているの？>

私は毎週木曜日、ほっとぼっとのボランティアとしてランチ作りのお手伝いをしています。

ほっとぼっとのランチは、メニューを毎日その日の参加者が相談して決めます。

参加者は買い物・調理・配膳・片付けのうち 1 つを分担することになっていて、私は主に調理を担当しています。

### <なぜほっとぼっとのボランティアをすることになったの？>

約 10 年前まで私は普通のサラリーマンでした。母親が入院したのを機に会社を退職し、介護の勉強をしてホームヘルパーになりました。当時、料理は全然できませんでした。

ヘルパーとして、料理をできるようになりたと思いました。会社をやめて自由な時間ができたので、何かボランティアをしたいとも思っていました。

旭区のボランティアセンターへ行って、「料理をおぼえられるボランティアをしたい」と話し、ほっとぼっとを紹介してもらいました。それが、ちょうどほっとぼっとができた年でした。

### <なぜ長く続いているの？>

しばらく前にほっとぼっとの元職員だった人に会った時、「なぜボランティアを長く続けられているの？」と聞かれ、すぐ答えがうかびませんでした。

ランチのボランティアは自分の都合で休んでもいいし、逆に木曜日以外の日に行っても歓迎してくれます。職員の方は「来れる時に来てくれればいい」という姿勢です。やることも、その日のメニューに応じて自分ができることだけお手伝いすればいいので、気が楽です。

自由でしぼられないボランティアなので、長く続けているのだと思います。

### <これからは？>

はじめのうちは、ほっとぼっとの職員さんがランチのまとめ役をしていてくれました。

その後、職員さんが忙しくなったため、まとめ役は当事者の方かボランティアがすることになりました。

ボランティアと当事者との距離が縮まり、直接関わるが多くなりました。職員の方々、他のボランティアなどいろいろな人と知り合うこともできました。

先日、ボランティアが私だけで、一人で 10 人分の買物と調理の両方をした日がありました。メニューは簡単なもの（スパゲティーミートソース）でしたが、何とか仕上げることができました。

ボランティアのやりがいを感じていますし、ヘルパーとしての仕事にも役立っています。

これからも自由なボランティアを続けていきたいと思っています。



# バスハイク

メンバー 只野秀子

バスハイク、皆さん一日お疲れ様でした。

今回は、7月14日に箱根の星の王子様ミュージアムへ見学に行きました。

私は今回、世話人をやれば自分の仕事の休みに合わせて、バスハイクの日取りを決めることができると聞いて、世話人になりました。

行き先を決めるに当たって、世話人で話し合った時に、私は中学一年生の時に「星の王子様」が教科書に載っていたのが印象に残っていて、いつか箱根にあるミュージアムへ行ってみたいと思っていたので、提案して行き先に採用されてラッキーでした。

星の王子様という本は、サン・テグジュペリが1935年のリビア砂漠での飛行機墜落事故の体験をモチーフにして書かれています。ミュージアムに行ってみて、作者は学校では勉強はできなかったけれど、作文は得意だったことなど、いろいろなことが説明に書いてありました。

今回私は、みんなで行ったけれど、自分の行きたいところに行き、ゆっくり回ることができました。次回は他の人が行きたいところにみんなで回るのもいいなと思いました。

～当日は天候にも恵まれ、当初の予定では「やすらぎの森」で食事をする計画でしたが、バスの運転手さんの提案で、箱根の道の駅で芦ノ湖を見渡しながらの昼食をとることができました。箱根神社は急階段で、私の方がめげてしまいそうでしたが、ほとんどの方が参拝しびっくり。星の王子さまミュージアムでは、館内の映像ホールや展示ホールをゆっくりと時間をとり楽しまれていらっしやるようでした。まったく異文化を体験することができ、この夏の楽しい思い出となりました～ (担当スタッフ)



星の王子様ミュージアム：王子様像



箱根神社

2016.9～12月

# 市民の会・ほっとぽっと



ご案内

★ やみなべ会（会員のつどい）

9月28日（水） 18：00～20：00 ほっとぽっと本館2階にて

ゲスト：宮川 博さん（鎧橋自治会長）

最も身近な地域の自治会長さんとして私たちを大らかに見守ってくださっている宮川さんは元・校長先生。秋の夜、ざっくばらんに語り合しましょう。各自、食べる物（夕食）を持ってきてね！

★ あげぼの会（旭区精神障害者家族会）バザー 振り出し物が一杯！（10円から～）

様々な人と出会い、環境に優しく、楽しく生活の輪を広げましょう。ご来場をお待ちしています。

10月16日（日）【旭区民まつりの日】 11：00～15：00 ほっとぽっと別館

リサイクル衣料（秋・冬物）、バッグ、雑貨、食器、アクセサリ、帽子、スカーフ、靴、手作り小物等。プレゼントにもご利用を！！ 新品の雑貨・衣料多数あります。

リメイク品作りに最適な羽織、着物大放出（100円～） 生地、和布、帯もあります。

《理事会報告》

（第53回）H28年4月28日（木）18：30～21：00 理事10名、担当職員1名出席

- ①H27年度法人事業報告、決算の件 ②H28年度法人事業計画、予算の件③職員雇用の件  
④総会開催の件 ⑤市民の会の今後について 他

（第54回）H28年7月7日（木）18：30～21：00 理事10名出席

- ①H28年度法人事業の具体化の件 ②ほっとぽっと29年度予算要望の件 ③職員雇用の件  
④会員の件⑤市民の会今後のあり方について 他

2回の理事会にわたって、市民の会の今後の在り方について、討議されました。

職員体制や運営の在り方など、「市民の会」として根本的な見直しが求められていることを踏まえて、検討会がつけられました。

【お詫びと訂正】

46号P3の見出し「第17回旭区精神保健福祉センター」は誤りで、正しくは「第17回旭区精神保健福祉セミナー」でした。お詫びして訂正いたします。

編集後記

☼相模原の事件で障害者と「共に生きる」ことが問われている。私達一人一人が問われている。  
（高野）

☼盛夏の最中に冷蔵庫が壊れました。浴槽に氷水を張ってビニール袋に入れた食材を浮かべ…と戦後さながらの生活を余儀なくされました。今は最新鋭の冷蔵庫を愛でてルンルンです♪（早間）

☼今年少年野球のお手伝いをしています！つくづく、スポーツは周りのいろいろな人のサポートがあって初めてできるのだな～と実感しています。どんなことも経験ですね(^◇^)(清水)